

スマホアプリ等を使った森林現地調査方法等の勉強会

1 はじめに

当管内のナラ枯れ調査は、令和5年度まで現場で地図上に直接記入し、内業でGISにポイントを落とす等の作業を行ってまいりました。

「QField」というQGISで作成した事業計画等のデータをスマートフォンやタブレット等の携帯端末に読み込み、現場で利用できる無料のアプリが、android・iOSでリリースされたことから、令和6年度に同アプリによるナラ枯れ調査を行ったところ、以前の調査方法に比べて業務時間が大幅に削減できました。

これらの方法を用いた現地調査等に関する勉強会を開催しましたので、その内容を報告します。

2 勉強会の開催

勉強会は、ナラ枯れ調査が本格的に始まる前に普及するため、森林管理署・市町・森林組合を対象に7月25日(金)に宮古合同庁舎会議室で開催し、計16名の参加がありました。

前述のアプリを使った調査方法のほか、Geographica(スマートフォンアプリ)を使った現地調査方法や、国土地理院地図による作図も併せて紹介しました。

勉強会で使用するスマートフォンアプリを事前にインストールした上で出席するなど意欲的な方々もおり、試行した上での質問やこれから導入を検討している中からの質問が出たりと、参加者のスマートフォンアプリ等活用に向けた積極的な姿勢がうかがえました。

3 今後の取組

スマートフォンやQGISの習熟度に差があるこ

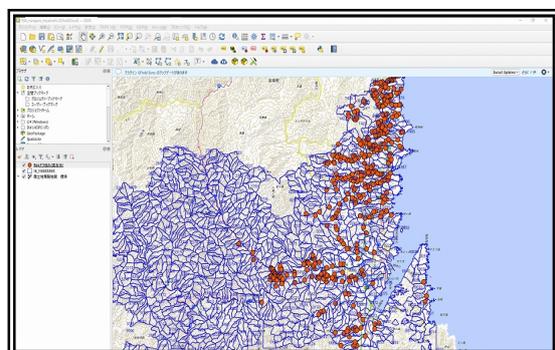
とが予想されるため、今回の勉強会では実際の操作は行わず、参加者が各自で試用した際に不明点があれば、個別訪問や指導を行う方針としています。

森林管理署では近々、QGISの操作研修会を予定しており、この研修会では現地調査で得られたGPSデータを取り込んで活用する内容も含まれるなど、今回の勉強会の内容と連動したものとなっております。

今後も関係機関と連携しながら、効率的な現地調査方法の模索と情報共有に努めていきます。



勉強会の様子



Qfeiidの調査結果をQGISで表示した画面